

とうきょう すくわくプログラム活動報告書①

園名	東上野乳児保育園
活動日	令和7年8月28日(木)
クラス名(年齢)	ぶどう組(1歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

<テーマ>

色水遊び

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

水遊びを楽しむ中でコップに入れた水を飲む真似する姿が見られた。色への興味・関心も高まっているので色水遊びを設ける。

2.活動スケジュール

3グループに分かれて、色水遊びを行う。
始める前にドリンクサーバーの使い方を伝える。

3・環境をデザインする(活動のため準備した素材や道具、環境設定)

・テーブル ・ドリンクサーバー ・コップ ・バケツ
・スプーン ・食紅 ・絵の具 ・入浴剤

4.探究活動の実践

<活動内容>

テーブルの上にドリンクサーバーを置き、子どもが自由に水を出せるようにする。食紅、絵の具、入浴剤を使用し、色や透明度の異なる色水を用意し、子どもが好きな物を選ぶようにする。色水がなくなった場合は子どもたちと相談しながら、新しい物を作っていく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
コップに色水を入れると別の容器に移し替えたり、色を混ぜたりして楽しんでいた。	
保育士が「これは何のジュースかな？」と声を掛けると「いちご」「ぶどう」等、色から連想されるフルーツの名前を言う姿が見られた。	
ドリンクサーバーから水を出すことを楽しみ、コップに水が溜まっていく様子を真剣な表情で観察していた。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

水遊びの一環として、色水遊びを行ったのでドリンクサーバーから水を出したり、コップをひっくり返して水をこぼしたりするのを楽しんでいた。また、わからない色があると質問したり、色から連想されるフルーツの名前を言ったりと色への興味・関心が高まっているので、保育室で遊ぶ玩具に色を多く取り入れていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書②

園名	東上野乳児保育園
活動日	令和7年9月22日(月)
クラス名(年齢)	ぶどう組(1歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

<テーマ>

たくさんの色に触れて、遊ぶ。

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

前回の色水遊びでわからない色を質問する姿が見られたので、より多くの色と触れ合えるような玩具を用意する。

2.活動スケジュール

コーナー遊びの中に色遊びのコーナーを設け、自由に遊ぶ。

3.環境をデザインする(活動のため準備した素材や道具、環境設定)

- ・ピタゴラス
- ・ウォーターブロック
- ・窓の装飾の色が床に反射していたので、色がより鮮明になるようレースのカーテンを開ける

4.探究活動の実践

<活動内容>

コーナー遊びの中にピタゴラスとウォーターブロックで色遊びのコーナーを設ける。天気がいい日は窓の装飾の色が床に反射し、子どもも興味を示していたのでレースのカーテンを開け、太陽光をより取り入れられるように環境を設定する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
窓際にちょうど良い高さの棚があり、その上でピタゴラスやウォーターブロックを自由に組み立てて楽しんでいた。	
一人の子が窓の装飾だけでなく、ピタゴラスやウォーターブロックの色が棚に反射していることに気が付くと他の子も真似をして、棚に玩具を並べていた。	
高月齢児は青色に黄色を重ねると緑色に変化することに気が付き、「みどりになった!」と嬉しそうに話し、いろんな色を重ねていた。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

普段はレースのカーテンを閉めている為、ぼんやりとしていた色の反射がカーテンを開けることでより鮮明に見えるようになり、子どもたちも興味を持っていた。保育室では光が当たる場所が限られてしまうので、戸外でも色と触れ合えるような環境・設定を考えていく。違う色を重ねると色が変化することに気付いたが色によっては変化が分かりにくいようだった。

園名	東上野乳児保育園
活動日	令和7年10月23日(木)
クラス名(年齢)	ぶどう組(1歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

<テーマ>

戸外活動で色を探してみよう

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

前回色に興味を示す姿が見られたのでカラーフィルムを戸外に持って行く。

2.活動スケジュール

戸外活動で公園に行きカラーフィルムを用いて外の景色を覗いて見る。

3・環境をデザインする(活動のため準備した素材や道具、環境設定)

カラーフィルム(赤、青、黄、緑、紫)

4.探究活動の実践

<活動内容>

天気の良い日にカラーフィルムを持って公園に行き、カラーフィルム自体の色を見たり、カラーフィルムを通して草花や空等、外の景色をしてみる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
カラーフィルムを手に取り「あか」「あお」と色の名前を話していた。	
フィルムを通して草花を覗いて見てみていた。	
「ちがう」と、草花や空、目に映るものがフィルムの色に見えることに気が付いていた。	
地面のカラーフィルムの影にも色があることに気付き、指差していた。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

カラーフィルムの色がはっきりとよく見えるよう晴れの日には戸外に行ったところ、色がよく写り地面の影に気付く子がいた。普段見えている景色がカラーフィルムを通して色が変わり、「あか」や「あお」と色の名前を言葉にしていた。色の変化に気が付き、夢中でカラーフィルムを通して外の景色を見ていたので、色々な色の発見に繋がるようにしていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書④

園名	東上野乳児保育園
活動日	令和7年11月28日(金)
クラス名(年齢)	ぶどう組(1歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

<テーマ>

好きな色を混ぜて、自分だけの色を作ろう。

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

前回の活動でカラーフィルム越しに景色を見るといつも見ている色が違って見えることに興味を持っていたので、2色の絵の具を混ぜ、色の変化を楽しめるようにする。

2.活動スケジュール

少人数に分かれて行う。
好きな色を2色選び、感触を楽しみながら色の変化を観察する。

3.環境をデザインする(活動のため準備した素材や道具、環境設定)

・テーブル ・テーブルカバー
・絵の具(白色、黄色、水色、ピンク、パールオレンジ)
・ラップ ・ジッパーバッグ ・画用紙

4.探究活動の実践

<活動内容>

コーナー遊びの中に色遊びのコーナーを設ける。ラップやジッパーバッグに好きな2色を入れ、混ぜて色の変化や感触遊びを楽しめるようにする。完成した作品を壁に貼り、いつでも見られるようにする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
ラップを使用すると絵の具の感触がよりリアルに感じられるようで「つめたい」「やわらかい」と感触遊びを楽しんでいた。	
ジッパーバッグはラップに比べると感触は感じにくいですが色が混ぜていく様子は分かりやすいようだった。	
色の変化を楽しめるよう、2色混ぜていたが「1色がいい」と話す子もいた。友だちの色が変化していく様子を見ると「あれ?」と不思議そうにしていた。	
子どもたちが作った色を壁に貼り出すと前を通る際に触ったり、お迎えの際、保護者に活動の様子を話したりしていた。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

今までの活動では色の3原色である赤、青、黄を使用することが多かったが今回、別の色も使用すると子どもたちに人気の色はパールオレンジであった。
今回は色を2色と指定してしまったが1色がいいと話す子もいたので、今後は子どもが自由に選べるような準備や環境を整えていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書⑤

園名	東上野乳児保育園
活動日	令和7年12月16日(火)
クラス名(年齢)	ぶどう組(1歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

<テーマ>

色水に触れて、色の変化を楽しもう。

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

前回の絵の具で色が混ざることに関心、興味をもっていたので、今回は色の変化が分かりやすく見られる色水遊びを取り入れ、色が変わっていく様子を観察する。

2.活動スケジュール

少人数(4~5名)のグループに分かれて行う。
用意した色水の中から好きな色を選び、目の前で混ざる様子を観察する。

3.環境をデザインする(活動のため準備した素材や道具、環境設定)

- ・テーブル ・テーブルカバー ・ペットボトル ・水 ・マドラー
- ・食紅(赤、ピンク、黄色、緑、青、紫) ・小さいジップ付き袋

4.探究活動の実践

<活動内容>

- ・子どもたちの前で食紅を使用し、色水を作る。
- ・コーナー遊びの中に色水遊びのコーナーを設ける。
- ・子どもが好きな色を選び、ペットボトルに入れ色の変化を観察する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
透明な水の色が変わっていく様子に気づくと、「きいろだ！」と声を上げ、立ち上がってじっと見つめていた。	
保育者に「どの色にする？」と声をかけられると、「あか!」「ピンク!」と自分で選んだ色を言葉で伝え、色を選ぶことを楽しんでいた。	
作った色水が入ったペットボトルを手に取り、振ってみたり、顔の近くでのぞき込んだりしながら、色水の変化に興味をもっていた。	
色水をジップ付き袋に入れて飾り、いつでも見られるようにすると「これ作ったよ」と、保護者に伝えたり、子ども同士で「これ〇〇の」と話したりする姿が見られた。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

子どもたちは、色水が変化していく様子を興味深く見つめ、「あっ」と声をあげたり指さしたりしながら、色の変化を楽しむ姿が見られた。一方で、混ぜても変化が分かりにくい組み合わせでは、不思議そうな表情でじっと見つめる様子もあり、色の変化への気づきには差が見られた。
これまでは、色が混ざって変化する面白さを中心に体験してきたが、今後は混ぜても変化が見られにくい場合や、予想と異なる結果になる場面も取り入れ、不思議さや気づきをより深められるような活動へとつなげていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書⑥

園名	東上野乳児保育園
活動日	令和8年3月25日(水)
クラス名(年齢)	ぶどう組(1歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

<テーマ>

色の変化や不思議に触れる。

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

前回の活動で、色の変化が分かりにくい場面に不思議そうにする姿が見られた。これまでの混ぜる活動に加え、子どもの疑問や気づきを広げるため、水とオイルを使った混ぜられない色水を取り入れる。

2.活動スケジュール

少人数(3~4名)のグループに分かれて行う。
好きな色の染料を選び、ベビーオイルに色をつける。
色水とオイルをペットボトルに入れ、観察する。

3.環境をデザインする(活動のため準備した素材や道具、環境設定)

・テーブル ・ペットボトル ・マドラー

・色水 ・ベビーオイル ・油用染料

4.探究活動の実践

<活動内容>

- ・子どもが選んだ染料でベビーオイルに色をつける。
- ・事前に作っていた色水から好きな色を選び、ペットボトルに入れる。
- ・色をつけたベビーオイルを入れ、色の変化を観察する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
保育士がベビーオイルに染料を入れて混ぜる様子を、子どもたちは真剣に見つめていた。	
色水同士はすぐに混ぜるのに、水とオイルでは混ぜらず、子どもたちは不思議そうに見つめていた。	
一度は混ぜた色が時間とともに分かれていく様子に、子どもたちは興味津々で、何度も振ったり観察したりして楽しんでた。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

水とオイルを使った色水遊びでは、混ぜた直後は一見混ぜている色が、時間とともに分かれていく様子に、子どもたちは興味津々で見入る姿が見られた。保育士も「不思議だね」と声をかけながら一緒に驚きや発見を共有し、子どもの気づきに寄り添うことができた。今後も、子どもたちの「不思議」に触れられる体験を取り入れていきたい。